

2. 消防施設

1. 消防機械

県下消防機関の有する主要な消防機械の現況は以下の表のとおりである。

消防本部・署については、5年前と比べるとはしご付き消防ポンプ自動車、化学消防自動車、救助工作車が減少している一方、消防ポンプ自動車及び救急自動車が増加している。

また、消防団については、5年前と比べると消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプが減少している一方、小型動力ポンプ付積載車が増加している。

| 消防本部・署 | 消防ポンプ自動車 | はしご付き消防ポンプ自動車 | 化学消防自動車 | 救急自動車 | 救助工作車 |
|--------|----------|---------------|---------|-------|-------|
| 平成28年 | 343 | 62 | 47 | 257 | 53 |
| 平成23年 | 336 | 65 | 53 | 248 | 55 |
| 増減 | 7 | ▲3 | ▲6 | 9 | ▲2 |

| 消防団 | 消防ポンプ自動車 | 小型動力ポンプ付積載車 | 小型動力ポンプ |
|-------|----------|-------------|---------|
| 平成28年 | 557 | 1,090 | 139 |
| 平成23年 | 581 | 988 | 175 |
| 増減 | ▲24 | 102 | ▲36 |

2. 消防水利

消防水利には、消火栓、防火水槽、井戸、河川等の種類がある。

消防水利の現況の推移を示すと、以下のグラフのとおりである。

5年前と比べると、総数で12,084(13.6%)増加している。

防火水槽(40㎡以上)にあつては5年前と比べると1,396(6.7%)増加しているが、近い将来発生が懸念されている大規模地震等に備え、より一層の増加を図っていく必要がある。

